

科学の祭典が20歳になりました

第20回「青少年のための科学の祭典」2011全国大会を開催



【研修会】
安全講習会に多くの方が参加した



【一般公開】
今年もおおにぎわい



【エネルギー出展】
放射線の話に多くの人が耳を傾けた



【日本学生科学賞研究発表会】
日本学生科学賞中央最終審査出場研究作品

2011（平成23）年7月29日（金）から31日（日）まで、皆様に支えられて、第20回となる「青少年のための科学の祭典」2011全国大会を開催しました。今年には節電の心配がありましたが、29日は研修会、30日と31日は一般公開日として、科学実験体験イベントに加え、日本学生科学賞の研究発表会を実施しました。研修会に参加した人は773名、通常の科学の祭典への来場者は20,290名でした。

●研修会（7月29日）

青少年に、より安全で理解しやすい科学実験を体験してもらうため、出展者や教育関係者を対象とした研修会を実施しました。これは教える側のスキル向上を目指したものです。今年には節電対策として、研修会の第2部の出展者相互の研鑽による演習研修は、奇数号館と偶数号館の出展に分けて前半・後半出展とし、演習のない号館の照明を消灯して実施しました。

第1部 実験・工作の際の安全への取組（9:00～10:00）

- ・「『青少年のための科学の祭典』での事故ゼロを目指して」
- ・「科学技術館の地震対策」

第2部 出展者相互の研鑽による演習研修（10:30～13:00、13:00～15:30）

第3部 研究交流会（16:00～17:00）

- ・テーマ1：「科学の祭典という教育活動の意義」について
- ・テーマ2：「実験を演習する際の工夫や取り組み」について

●一般公開日（7月30日、7月31日）

青少年が興味を持って科学の基礎からその発展内容まで体験・学習できるようにと、全国の実験名人による個人出展から、企業や大学などの団体出展まで、幅広い出展となりました。今年には東京理科大学からドライミストの出展協力をいただき、科学技術館入口に設置したり、また会場レイアウトマップを印刷した団扇を配布したりするなど、来場者への暑さ対策を行いました。

出展数 ブース：60、ステージ：3、合計：63（個人出展：46、団体出展：17）

●日本学生科学賞研究発表会

一般公開日に、第54回日本学生科学賞中央最終審査出場研究作品出展として中学校2校、高等学校5校の出展と発表を行いました。どの研究も内閣総理大臣賞や文部科学大臣賞などを受賞した優れた研究であり、内容のレベルの高さに来場者の方々も感心していました。

中学校（7月30日）

科目	研究タイトル	学校名
物理	影が伸びる現象の研究	西尾市立鶴城中学校
広領域	青銅鏡の美に迫る！	日置市立伊集院北中学校

高等学校（7月31日）

科目	研究タイトル	学校名
物理	回転する球体の跳ね方について	滋賀県立膳所高等学校
化学	加湿器を用いた簡易炎光度計の製作	大阪府立千里高等学校
生物	プラナリアの光走性を司る器官	埼玉県立浦和第一女子高等学校
地学	有孔虫による堆積古環境の推定	千葉県立千葉高等学校
技術	テスラコイルの製作と無線送電	三重県立上野工業高等学校

<振興事業部>